

- 地元農家のお母さん達を中心に構成する「陽気な母さんの店」が中核法人となり、教育旅行の受け入れから始まり、本場のきりたんぼ作り体験等を提供し、現在はインバウンドの受け入れに注力。
- 広域連携による観光振興やインバウンド受入体制については、(一社)秋田犬ツーリズム(地域連携DMO)と連携し、さらなる観光客の誘致を目指す。

【地域の概要】

秋田県大館市



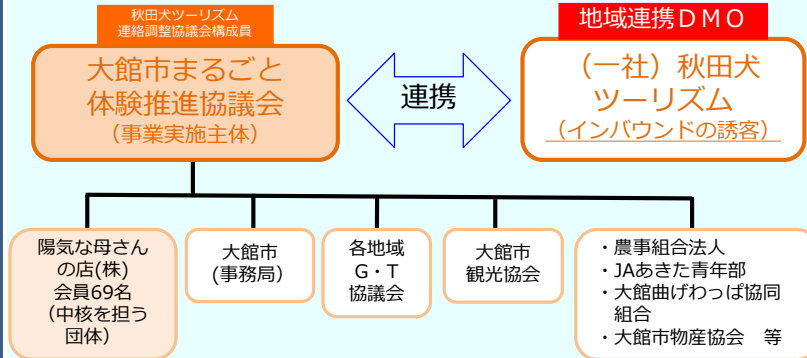
＜地域の特徴＞

- H17に大館市、田代町、比内町が合併し、現在の**大館市**となった。
- 「きりたんぼ」の本場と言われており、日本三大地鶏の一つ「**比内地鶏**」の産地でもある。
- 秋田犬の原産地でもあり、忠犬八子公のふるさと。



陽気な母さんの店

【実施体制】



＜陽気な母さんの店＞

- 農産物や農業について消費者に理解してもらうためには、農産物をただ売るだけでなく、農家と消費者とで「**体験交流**」しながら直売活動をする必要があると考え、H13に直売所(陽気な母さんの店)を開業。
- 会員の高齢化により直売所の経営が先細りするという問題意識から、継続性の確保のためH27に株式会社化。

＜大館市まるごと体験推進協議会＞

- 市町村合併前の旧市町村エリアに、教育旅行を受け入れる既存の団体が複数あったため、それらを統合し、H22に体験申し込みのワンストップ化を図る組織として、官民共同で設立。H29からインバウンド受け入れ推進に取り組む。

＜(一社)秋田犬ツーリズム＞

- インバウンドという新たな層を取り込むことを目的に、既存の観光協会とは別組織として2市1町1村(大館市・北秋田市・小坂町・上小阿仁村)にてH28に設立。

【取組内容】

＜協議会の取組＞

- 当初は農家民泊にて教育旅行を受け入れ。その後、教育旅行で来た子ども達が大館市を再訪する際に農家に宿泊できるよう、「陽気な母さんの店」が中心となり、**民宿の開業**に向け勉強会を開催し支援を行った結果、**農家民宿は現在17軒(H31時点)**。
- 農家のお母さん達が集まり、「味」から地域を伝えるため、本場のきりたんぼ作り体験を提供。また、農作業などの体験は、気候や天候に対応したメニューを用意。現在では、教育旅行だけでなく、**個人旅行者やインバウンド**に対しても、これらの体験を提供。



きりたんぼ作り体験

りんご収穫体験(晴れの日)

ごもち作り体験(雨の日)

農家民宿でのおもてなし

＜(一社)秋田犬ツーリズムとの連携＞

- ツーリズムが連携団体として構成する、多様な関係者(県、市町村、観光物産協会、旅館組合、鉄道会社等)が参加する「**連絡調整協議会**」に協議会も参画。DMOと随時情報共有を行い、ツーリズムを中心として**広域連携による観光振興**を図る。
- ツーリズムが主催するワークショップ(全3回開催)にて、陽気な母さんの店のほか、観光協会や民間企業、旅館等が参加し、地域の多様な業種に対応した地域ならではの『**地域版指さし会話帳**』を作成。



指さし会話帳